

# 松林分館だより syourin

福生市武蔵野台 1-15-1

電話 552-3624

だれでもなんでも展は、10月15日(土)・16日(日)午前10時~午後4時開催します!

## テーマ 松林で地域の絆を深めよう

だれでもなんでも展の今年のテーマは、3月11日の東日本大震災を受け、このような災害に見舞われた時は、地域で協力して災害から未来を守るために、日頃から地域の交流が必要と考え実行委員会で決定されました。準備も6月から毎月会議を開催し話し合い、進めています。

### だれでもなんでも展が開かれます

今年も暑い夏が終わり秋風を感じる季節となりました。第31回を迎える松林分館の「だれでもなんでも展」が今年も10月15日(土)16日(日)に開かれます。

だれでもなんでも展は、昭和55年に、日頃の活動の発表をだれでもなんでも気軽に参加しようと始まったものです。サークルやグループの他に一般の方にも参加していただき、こつこつと30年続いてきた松林分館と地域の小さな文化祭です。今年も10月15日の開催に向けて実行委員会を重ね、各サークルも作品作りや、舞台の練習を重ねて準備をして参りました。

当日は、陶芸や絵画、絵手紙、書や篆刻、ビーズや生け花などの作品展示部門と、コーラスやウクレレ、民族舞踊、日舞やマジックなどの演習部門と、焼きそばやおでん、喫茶店などの模擬店部門に別れて皆様をお待ちしています。

また、今年も個人参加の方の作品や、主催講座に参加された方の作品、麦わらぼうしさんや武蔵野児童館、保健センターの参加もいただき、にぎやかにお待ち致します。どうぞ、皆様お誘い合わせのうえ松林分館へお出かけください。

第31回だれでもなんでも展実行委員会

(武井委員長・八木・会田副委員長)



ステンドグラス教室

「夏休み子ども教室」松林分館利用者のサークルの協力で開催したこの教室は、7教室、延べ157人の小学生の参加がありました。だれでもなんでも展で学習した成果をご覧下さい。



ロビー壁面は、保育サークルで飾ります。



今年も展示は、2日間のスケジュールがいっぱいです。

### 「福生街なか涼み処」

松林分館のロビーは、この夏、家庭の節電を目的に「福生街なか涼み処」が開設され、その一つとして使われました。もともと、このロビーは利用者が多く、普段から放課後の子どもたちやサークル活動終了後の利用者の皆さんの休み処としても利用されています。中には活動時間よりも長く楽しいおしゃべりの場として使われることもあります。また、今年は、暑い日が続いて熱中症予防として、子どもたちの水飲み場としても利用がありました。秋の深まるこれからは、暖かな休み処として松林分館ロビーをお使い下さい。お待ちしております。

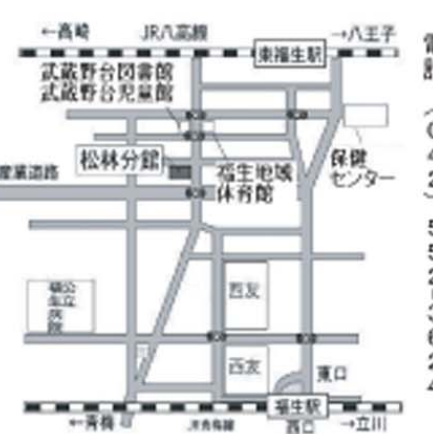
**サークル紹介**  
童謡をうたう会「ななつの子」  
代表 花輪順子  
「だれでもなんでも展」にむけてみなさんこんにちは。童謡をうたう会「ななつの子」です。「だれでもなんでも展」まであと2週間となりました。どのサークルも作品作り、発表の仕上げにラストスパートをかけていることでしょう。「ななつの子」は、今年も、「二日目、最終ステージ」の時間をいただきました。50分間歌い通して、なんでも展を盛り上げて参ります。今年はNHK「みんなのうた」放送開始から50年だそうです。「ななつの子」も今までに歌った「みんなのうた」の中から、長い間歌い継がれてきた曲、知られざる名曲、お気に入りの曲を選びました。最近の歌も心を込めて歌いますので、どうぞご期待ください。



保育サークル「にこにこ」のお誕生会で隔月歌っています。

た、他のサークルさんと交流したり、松林分館以外の場所でも歌わせていただいているうちに、名簿上ではのべ35人になりました。無理せず、楽しくがモットーの「ななつの子」です。ふだんは12人から15人が土曜日の午後大集會室に集まって童謡・唱歌・叙情歌からフォークソング・今話題になっている歌をみんなて歌い、お茶を飲んで、おしゃべりをして2時間を過ごします。会員からは、「この歌にはこんな思い出がある。」とか、「子供の頃、こんな歌を習った。」「こんなきれいな曲がある。」と教えていただき、楽譜を探し出してみんなで歌ったりもします。(次号につづく)

**編集後記**  
松林分館では、「だれでもなんでも展」にむけて、実行委員会の方々と準備に追われています。個人参加の方も16名になりました。地域でこのミニ文化祭を盛り上げ、交流を深めていきたいと考えています。



発行・編集 公民館 松林分館  
住所 福生市武蔵野台一丁目15番地1  
電話 (042) 552-3624

**松林分館利用者交流会の記録**  
■8月27日(土)「流しそめ」を開催しました。今年は新しい竹を用意し、当日は約80人が参加して、楽しい交流のひと時を過ごしました。  
■9月3日(土) 交流会のメンバーで平成19年世界遺産暫定リストに記載された富岡製糸場に研修に行きました。説明ボランティアの分かりやすい説明で文化遺産としての存在がよく理解できました。バスの中では、普段、顔を合わせない利用者も多いので自己紹介などをして交流を深めました。



富岡製糸場「東蔵倉庫」入り口にて



多くの方の協力でおいしい流しソーメンを味わうことができました。